



2024年11月6日

各位

会社名 秩父鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 牧野 英伸
(コード: 9012 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員総務部長 佐藤 伸
(TEL 048-523-3311)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第2四半期連結会計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）において特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月24日に公表いたしました2025年3月期第2四半期連結累計期間業績予想（2024年4月1日～2024年9月30日）を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社グループの鉄道事業に係る固定資産につきましては、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損の兆候が認められることから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失として29百万円を特別損失に計上する見込みです。

2. 2025年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値の修正

(2024年4月1日～2024年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A) (2024年5月24日時点)	2,600	40	30	△40	△26.93
今回発表予想 (B) (2024年11月6日時点)	2,570	90	70	30	20.20
増減額 (B-A)	△30	50	40	70	
増減率 (%)	△1.2	125.0	133.3	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	2,417	32	43	234	158.16

3. 業績予想修正の理由

2025年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、観光事業は、好天に恵まれた影響もあり各施設の業績が好調に推移し、不動産事業は、駐車場等の賃貸収入が増加し、共に前回予想から増収増益となる見込みです。一方、鉄道事業は、貨物部門の輸送数量減少などにより営業収益が前回予想を下回るものの、修繕工事の一部を第3四半期以降に変更したことなどにより営業費用が減少し、営業損益は前回予想並みとなる見込みです。これらにより、連結の営業利益及び経常利益は、前回予想から増益となる見込みです。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、特別損失として固定資産の減損損失を計上するものの、計上額が前回予想を下回るため、増益となる見込みです。

なお、2025年3月期通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、今後修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上